



滋賀県議会議員

奥村よしまさ 県政レポート

Okumura Yoshimasa Kensei Report

Vol.45
平成30年8月発行



暑さに負けない「元気」をもらいました!

今年は、地震、竜巻、豪雨と立て続けに災害が発生し、加えて連日の猛暑と大変厳しい夏となりました。先の災害で亡くなられた方々のご遺族に対しまして、衷心より哀悼の誠を捧げますとともに、被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げ、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

また、厳しく辛いニュースの一方で、甲子園では滋賀県代表の近江高校の中尾主将が記念すべき第100回大会での選手宣誓を立派に務め上げ、試合ではベスト8まで勝ち進む快進撃を見せてくれました。猛暑の中で必死に白球を追う彼らの姿は、応援する私たちに、暑さを忘れるほどの感動と元気を与えてくれました。私も負けないくらい滋賀県を元気にするために、より一層頑張りたいと思います。

さて、今回の県政レポートでは、これまで監査員・副議長・議長と歴任いたしました関係で、約3年3ヶ月ぶりに議会で一般質問を行いましたので、その内容を一部抜粋してご報告いたします。

県の計画について

数多くの計画、本当にすべて必要なものですか?

県の計画は、大小含めて122もあり、基本構想や、部の総合計画等については議決をしておりますが、正直、大変数が多いというのが感想です。これだけあると、県民どころか、県庁内ですら、全てを理解している職員は、知事も含めてごくわずかだと思われ、作成したあと、つくりっぱなしで終わっていないかが危惧されるところです。そこで、まとめることで、計画の本数を減らすことが可能と考えますが、知事の所見を伺います。

<知事の回答>

県の計画は、県行政それぞれの分野における施策の基本方針などを示す重要なものと考えております。

他方、行政ニーズの多様化に対応するため、多くの計画を策定しておりますが、策定や進行管理それ自体が目的になってしまっていないか、とのご指摘もいただいているところです。今後、健康経営に取り組む中で、全庁的な業務のさらなる見直しの一環といたしまして、計画の策定の必要性や進行管理の事務の状況等について現状把握を行った上で、統合による廃止等が可能かどうか、数が減らせないかどうか、検討してまいりたいと存じます。

包括外部監査について

私は平成27年度に議員選出監査委員を務めました。地方自治法の改正で、議選の監査委員を置かないことも認められましたが、政策に精通した議員だからこそ、より実効性のある監査ができると自負しており、逆に人数を増やすべきだとも思っています。

一方、監査制度には外部監査があります。内部監査を外部の目から補完する点で有用であり、法律上委託は必要としても、自身の経験から、監査委員との連携がうまくいっているとは思えず、より有効な包括外部監査になるよう見直す必要があるのではないかと考えますが、知事の所見を伺います。

<知事の回答>

包括外部監査につきましては、意見に対する改善の取組を毎年積み重ねることにより、県全体として一定の成果が出ていると認識しています。

しかし、ご指摘のとおり、その時々社会・経済の情勢などを踏まえつつ、一層の実効性が上がるよう、手法や費用についても検証を行い、必要に応じて見直しを図ってまいりたいと思います。

「ここ滋賀」ならびに本県への観光誘客について

人口減少により、国内の観光客は今後少なくなると予想される一方、外国人観光客は国策で右肩上がりとなっています。特に外国人観光客の多い東京で、「ここ滋賀」は外国人に向けても、滋賀の良さをもっと発信すべきと考えます。「ここ滋賀」にはどのくらいの外国人が訪れているのか、商工観光労働部長に伺います。

<商工観光労働部長の回答>

6月末時点では約1%となっております。これは、近隣のアンテナショップと同程度です。現在、インバウンドの利用は決して多くありませんが、英語・中国語が話せるスタッフの配置、外国人向けの商品説明やFree Wi-Fiの案内掲示などに取り組んでおります。今後は外国人向けのSNSの充実などにも取り組みながら、サービスの拡充を図ってまいりたいと存じます。

ここ滋賀も重要ですが、「そこ滋賀」をもっと推進すべきでは?

全国的に増加しているにもかかわらず、2017年の滋賀県の外国人宿泊客はマイナス21.7%と前年を下回っています。京都を訪れる外国人の方々は、特に府県境の境にこだわりはなく、京都と遜色ない大津のホテルを選ぶ人も多いのではないかと思います。もし京都駅構内に滋賀県を紹介するスポットを設けることができれば、「ここ滋賀」よりもよっぽど費用対効果が上がるのではないのでしょうか。

そこで、「ここ滋賀」ならぬ「そこ滋賀」として、特に外国人に対しての情報発信拠点整備を京都で行い、滋賀への観光誘客を促進すべきと考えます。大きな拠点整備が無理なら、京都や大阪にある滋賀ゆかりの店とタイアップし、のぼりを立て優待券を配布するなど、滋賀へ一足のばしてもらおう施策を「そこ滋賀」として売り出せばよいとも考えますが、知事の所見を伺います。

<知事の回答>

何ともならぬうまいネーミングだなと思って拝聴してはいたのですが、京都に来られている方々に、来ようとされている方々に、さらにこの滋賀へのいざないをどうすればいいのか、今ご提案のあった拠点を開設することも一つでしょうし、メディアを活用したり交通事業者とのタイアップというものもまだまだできるのかもしれないので、あらゆる方策でもっともっと滋賀に来ていただけるように、さらに研究とともに努力したいと思っております。



滋賀県議会議員
文教・警察常任委員会 委員
議会運営委員会 委員
スポーツ振興対策特別委員会 委員

自民党滋賀県支部連合会
幹事長

事務所 〒525-0041 草津市青地町692-15 サンハイム東草津1F TEL:077-567-1500 FAX:077-567-1588

自宅 〒525-0042 滋賀県草津市山寺町477 TEL・FAX:077-562-4841

奥村 芳正

活動日記毎日更新中!

<http://www.genki-shiga.jp>

facebookも
チェック! →

奥村 芳正

携帯でも
発信して
います! →



平成30年
7月定例会議
代表質問

質問者
有村國俊議員



- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. 知事選挙を終えて | 1. 本県の観光振興について |
| 1. 大規模災害への対応について | 1. 滋賀ならではの農業振興について |
| 1. 本県の財政運営のあり方について | 1. 本県の社会資本整備について |
| 1. 新生美術館の整備について | 1. 本県の目指す教育について |
| 1. びわ湖再生における林業の役割について | 1. 県民の安全・安心に向けた警察活動の強化について |
| 1. 「健康しが」の推進について | |

県立学校への 空調設備整備の促進を求める緊急申し入れ

熱中症への対応、低位にある学力向上を検討する時、自由民主党滋賀県議会議員団はまことに憂慮すべき事態と考えます。すでに計画に沿って進められている空調設備の整備であります。2学期を迎えても高い気温が続くと予想されるなかで、全校整備に向けて計画の前倒しなど、一刻も早く未設置学校への空調設備整備を進められるよう強く要望申し入れしました。(8/9)



会派代表あいさつ

会派代表 家森 茂樹

自由民主党滋賀県議会議員団ならびに所属議員へのご支持、ご支援又ご提言など日頃より賜っておりますこと、誠にありがとうございます。

さて、本年7月から我が会派が支援する三日月知事による2期目の県政が始まるとともに、大津市選挙区、東近江日野町愛荘町選挙区選出の2名の議員を我が会派に新たに迎え、総勢22名の体制となりました。

賜りましたご支援を糧に少子超高齢化、人口減少が進む社会にあって厳しい財政状況ではありますが、県民福祉の向上のために会派所属議員一致協力して、議員活動、会派活動に努めてまいります。

県民の皆様方からさまざまなお声を各所属議員にぜひお聞かせください。

関西広域連合議長に西村久子県議会議員が就任

関西広域連合は、設立から今年で8年目を迎えております。これまで、ドクターヘリの共同運航や、災害時における被災地への迅速な派遣など、府県域を越える広域行政の取組に務めてまいりました。

しかし一方で、権限移譲による地方分権改革については、足踏み状態にあり、広域連合としての存在感を発揮するために、今、大きな転換期に差し掛かっています。このような重大なときに、関西広域連合議会の議長にご選任いただいたことに、その重責に身が引き締まる思いです。



関西広域連合議会 第9代議長 西村久子

小中学カテスト 全教科全国平均を下回る

文部科学省が実施した今年度の全国学力テストの結果が発表され、滋賀県内の小中学校の平均正答率は5年連続で全科目が全国平均を下回りました。この結果を受けて教育長には非常事態の発令をお願いしたいほど、これは由々しき問題です。

学力テストは11年前から行われていますが、滋賀県は低位置の常連という不名誉な成績が続いています。教育委員会をはじめ、教師、保護者が協力して、子供たちがしっかりと学習できる環境づくりを早急に進めなければなりません！

《全国学力テストにおける滋賀県の結果》

		正答率 (%)	全国平均との差 (ポイント)		全国順位 (位)	
			今回	前回		
小学校 (6年生)	国語	A	68	-2.7	-1.8	43●
		B	53	-1.7	-1.5	40
	算数	A	60	-3.5	-2.6	47●
		B	49	-2.5	-2.9	43●
	理科	58	-2.3	-2.8	44	
中学校 (3年生)	国語	A	75	-1.1	-1.4	35
		B	58	-3.2	-3.2	45●
	数学	A	65	-1.1	-1.6	28
		B	45	-1.9	-1.1	34
	理科	64	-2.1	-2.7	42	

A=基礎的知識を問う問題 B=応用力をみる問題

●は全国最下位 (他の都道府県との同率含む)

*県教育委員会発表資料などより

今後は会派として、この全国学力テストで常に上位をキープしている秋田県を視察訪問する予定をしています。秋田県では生徒数に対して先生の数にも余裕があり、生徒の学習の習熟度に合わせた少人数学級の環境が整っています。視察の際には実際の授業を参観させていただき予定もありますので、しっかりと長所を吸収して、滋賀県の学力向上に役立てていきたいと思っております。



平成30年度議会構成 (正会派のみ記載)

- 議長 川島 隆二 / 副議長 生田 邦夫
 総務・政策・企業常任委員会 ○大野和二郎 ○目片信悟 村島茂男 家森茂樹
 県民生活・土木交通常任委員会 ○佐藤健司 山本進一 富田博明 川島隆二
 環境・農水常任委員会 ○竹村 健 加藤誠一 高木健三 佐野高典
 厚生・産業常任委員会 ○岩佐弘明 周防清二 細江正人 生田邦夫 西村久子
 文教・警察常任委員会 ○有村國俊 桑野 仁 奥村芳正 野田藤雄 吉田清一
 琵琶湖対策特別委員会 ○加藤誠一 佐藤健司 山本進一 西村久子
 地方創生・しがブランド推進対策特別委員会 ○村島茂男 周防清二 目片信悟 細江正人 家森茂樹
 特別委員会「地方創生しがブランド」 佐野高典
 行財政・働き方改革特別委員会 ○富田博明 桑野 仁 竹村 健 大野和二郎 吉田清一
 スポーツ振興対策特別委員会 有村國俊 岩佐弘明 奥村芳正 野田藤雄
 監査委員 高木健三
 関西広域連合議会 西村久子(議長) 村島茂男

*○委員長 ○副委員長